

やまもり通信 vol.88

謹賀新年

この1年が皆様にとってかけがえのない素敵な1年でありますように。
今年もどうぞよろしくお願いたします。



【加子母の風景】1000年を越える加子母大杉。この場所でずっと見守ってくれています。



やまもり
yamamori

こちら 彩都やまもりです

【住所】箕面市彩都栗生南1-17-26

【彩都やまもり 1・2月のギャラリー展示】

「**岐阜の冬旅**」を開催します。

【期間】令和6年1月10日(水)～2月19日(月)

飛騨市の「三寺まいり」や高山市奥飛騨温泉郷の「中尾かまくらまつり」、その他各地のライトアップやイルミネーションなど、岐阜ならではの冬を満喫できるイベントや観光スポットを紹介します。



「**岐阜のひな祭り(仮称)**」を開催します。

【期間】令和6年2月21日(水)～3月31日(日)

毎年恒例の「岐阜のひなまつり」。《まゆ雛》や《つるし雛》など、岐阜に古くから伝わる伝承雛や変わり雛を展示します。



「**筆ペンアート体験教室**」を開催します

絵や字の得手不得手は問題なし。絵が苦手でも、字に自信がなくても「つつい夢中になってしまう」、「なんだか楽しい」と毎回大好評の《筆文字アート》の体験教室です。

【日時】令和6年1月18日(木) 10時～12時

【場所】彩都やまもりモデルハウス「加子母子屋」

【会費】3000円(材料費込み、ドリンク付き) 【定員】5名

【申込先】彩都やまもり ☎072-739-6046



やまもりHP

【お問合せ】
彩都やまもり
(TEL:072-739-6046)



やまもりfacebook

※最新情報は随時、
彩都やまもり HP
(<https://yamamori.site>) や
facebook でご確認ください。

本間希代子 絵描きイラストレーター 名古屋生まれ。加子母に移住して25年目。古楽器奏者の夫と娘と日々バタバタと加子母ライフを楽しんでいます。アトリエ工房 <http://leboke.jp>

明けましておめでとんちがいます。
昨年は皆さんどんな年でしたか？
私は、大波なこともたくさんありましたが、
たくさん助けてもらい、何とか乗り越え、
新しい世界もみせてもらい、
過ぎてみれば自分を褒めてあげたい
そんな1年でした。
人の支えがありがたく、
夷まれているなあと感謝感謝です。
今年は、周りに優しく、
人にも作品にも誠実に向き合えたら、
と思っています。



謹賀新年

あけましておめでとうございます。
昨年は秋に4年ぶりの「岐阜ふるさと祭り」を開催するなど、ようやくコロナ前の活気が戻ってきた1年だった気がします。今年もまた様々なイベント・活動を通して岐阜県と関西を結ぶ橋渡しをしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願っています。



岐阜県知事
古田 肇様

あけましておめでとうございます。
皆様には、健やかに新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が「第5類」へ移行され、ひとつの区切りを迎えたが、原材料・エネルギー価格の高騰に伴う物価の上昇をはじめ、経済情勢はなかなか先行きが見通せない状況でございました。このような中、関西岐阜県人連合会の皆様には、それぞれのお立場から「清流の国ぎふ」の魅力をPRしていただき、深く感謝申し上げます。

本年は本県で「清流の国ぎふ総文2024（全国高等学校総合文化祭）」と『清流の国ぎふ』文化祭2024が開催されます。本県の「清流文化」を県内外に広く発信してまいりますので、引き続きご高配賜れば幸いに存じます。

さらに、令和7年には、大阪・関西万博が開催されます。「清流の国ぎふ」を国内外にアピールする絶好の機会と捉え、着実に準備を進めてまいります。

末筆ながら、貴会の益々のご発展と、本年も皆様のご健勝とご多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。



大阪岐阜県人会会長
寺岡 龍彦様

新年あけましておめでとうございます。
昨年5月から新型コロナウイルスが5類へ引き下げられたことで、岐阜の観光地、特に白川郷、飛騨高山など、インバンドも含めて、観光客が戻ってきていると聞いています。うれしい限りです。

県人会では、2月7日に県庁、各自治体、県議会議員を迎えての盛大な新年会を開催することができました。6月8日には、総会を開催し、法人部会のいちい会を改名、大阪県人会法人部会の初代部会長に、株式会社いわさきの岩崎雅明代表取締役が就任頂き、一丸となって県人会を盛り上げていけるのではと思っております。

また、事務局のある彩都でも、各種イベントを開催、10月21日〜22日には、4年ぶりとなる、「岐阜ふるさと祭り」も2日間にわたり開催され、訊くところによるとコロナ前と変わらない約4千人の方が来場頂いたようで、ご尽力頂いた事務局や関係各位、各所に御礼申し上げます。

さて、2024年の干支は甲辰（きのえたつ）の年になります。過去を遡ると、史実としても、努力した行いが成果として実を結ぶような出来事が多く起こっている年だそうですね。それを弾みにして、岐阜県を盛り上げて行く年にしたいと思います。

【事務局よりお知らせ】

大阪岐阜県人会及び連合会合同新年会を開催します

令和6年大阪岐阜県人会と関西岐阜県人連合会合同の新年懇親会を以下の通り開催いたします。
お楽しみ抽選会も予定しております。
会員の皆様には後日案内を送りますが、ご興味ある方は連合会事務局までお問い合わせ下さい。



関西岐阜県人連合会会長
中島 紀于様

戦後で最も難しい年が明けた。ウクライナとイスラエルは戦禍の真只中。何時まで続くか判らない。苦しむ人達の事を思うと胸が痛い。どうしてこんな事になってしまったのだろうか。民族と信仰と利権とが複雑に絡んで、とても難しい問題だ。温暖化も大きな問題だ。

山奥の寒村加子母ではこの六十年間で気温が12℃上ってしまった。夏は暑くて農作物が良く採れるようになった。冬は雪が少なくて住み易くなった。しかし焼けるような暑さで木や草は枯れそうになってしまった。山に雪が積もらないので雪融け水も無くなってしまった。昔は居なかつた猪と鹿が増えて田畑を荒らしてしまふ。六千人の住人は二千五百人に減り、生まれる子供は十人以下になった。その子供達も高校を終えると都会へ出てしまつて帰つてこない。空家ばかりだ。車社会で便利だが、排気ガスや埃で空気が汚れて体調が優れない。

食うに困らないので、死ぬ思いで生きる人が無くなってしまった。人間が甘くなつてしまった。戦中生まれの私には、世界の小国日本がどうして生き残つて行くのかと心配でならない。本音で考えて、喋つて、生きてゆくようにしないと、日本民族は消えてしまうのではと心配している。



神戸岐阜県人会会長
高野 文男様

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昨年の、うさぎ年は素晴らしい一年でした。

彩都やまもりでの「ふるさと祭り」も久ぶりに開催され、中島会長をはじめ多くの会員、また地元の皆様方のご協力で盛大にかつ成功裡に終わったことを、お慶び致します。来年もぜひ続けていたきたいと思います。

産業界では素晴らしい決算報告が続いています。今年は私にも還元して頂けることを期待いたします。昨年は兵庫の阪神タイガース大阪のオリックスがともに優勝し、タイガースは日本一に輝きました。優勝パレードには十数万人が沿道につめかけ、ともに優勝をよろこびました。またサッカーリーグでは、ピツセル神戸が史上初となる優勝を果たし、大いに神戸は盛り上がりました。今年もこの勢いが続くことを願っております。（他チームを応援している皆さまごめんなさい・・・）今年私の当たり年、大いに頑張ります。最後になりましたが皆様方のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。



関西岐阜県人連合会
会長代行
徳田 昭憲様

新年おめでとうございます。
皆様には健やかに新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスも一段落したこともあり県人会活動は全て予定通り実施することが出来ました。

4年ぶりに開催した「岐阜ふるさと祭り」は岐阜県をはじめ多くの自治体や特産品業者の方々の出展もあり、地元の皆様、岐阜を愛し応援するファンの方々などの予想を上回る来場で大盛況でした。同時開催した「絆の夕べ」も多くの関係者に参加いただき郷土料理と地酒を楽しみながら懇親を深めました。

また、超少子高齢化が加速する今日、県人会を持続可能な組織にする二環として、機構改革し発足させた「大阪岐阜県人会・法人部会（いちい会）」も新役員体制が決定し、今後は県人会活動の中核的存在になるよう会員の拡大を目指します。

本年も県人会を取り巻く厳しい現実を直視し、会員の皆様は勿論のこと関係各位のより一層のご支援、ご理解を賜り、京都、神戸の県人会との連携も強化して事業の遂行に全力で取り組んでまいります。
本年が皆様にとって素晴らしい1年になりますよう心からお祈り申し上げます。



京都岐阜県人会会長
桂川 工様

新年あけましておめでとうございます。
昨年は新型コロナウイルスが治まり、約4年ぶりに各県人会の

行事をすることができました。

秋の彩都やまもりでの「岐阜ふるさと祭り」をはじめ、京都岐阜県人会の行事である「郡上踊り」「京都」、「鴨川納涼2023」、「皇后杯全国都道府県対抗女子駅伝の応援」等々活発に活動ができたと思えます。

長いコロナ禍で失った会員さんたちとの交流の場、連絡が途絶えることによる信頼関係の損失などマイナス要素がたくさんあり不安な1年ではありましたが、久しぶりの活動で改めて人と人とのつながり、交流することの大切さに気付くことができました。

私の出身地である東白川村は、「お茶とひのきと清流の里」として村全域公園化を目指す大変美しい村です。近年、5つのエリア、8つのサイトを持つ「東白川アウトドアリゾート」が設立されました。人気のカフェや設備の整ったグランピング施設も併設され若者たちにも大変好評のようです。東白川村出身者として今後大いに期待しています。

本年は、昨年よりさらに頑張つて岐阜県と関西地域とのつながりに貢献したいと思っております。
本年もどうぞよろしく願っています。



【日時】 令和6年2月7日（水） 18時〜20時頃
【場所】 新大阪ワシントンホテル2F 「紅梅の間」
【会費】 1万2千円（おひとり様）
【お問い合わせ先】 関西岐阜県人連合会事務局 吉田（072-739-6046）まで